

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026年7月15日

訪日外客数（2026年6月推計値）

◇6月：前年同月比6.8%減の315万人

- 6月の訪日外客数は3,148,600人で、前年同月比6.8%減となったものの、台湾、韓国、米国、インドなど15市場で6月として過去最高を記録した。また、上半期の累計で21,084,800人となった。
- 多くの市場で訪日需要が落ち着く時期であるなか、一部市場で航空便の減便や台風による欠航の影響が見られたものの、祝日やスクールホリデーに合わせた訪日需要の高まりも見られ、東アジアでは台湾、韓国、東南アジアではインド、ベトナム、欧米豪では米国、北欧地域などで訪日外客数が増加した。
- 2026年3月に策定された第5次観光立国推進基本計画では、リピーター数を含めた旅行者数・旅行消費額・地方部延べ宿泊者数など政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2026年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 6月として過去最高の15市場は韓国、台湾、ベトナム、インド、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域、中東地域。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2026年 訪日外客数・出国日本人数

2026 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization(JNTO)

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2025	2026	伸 率 Change %	2025	2026	伸 率 Change %
1 Jan.	3,781,629 (3,455,149)	3,597,881 (3,242,173)	-4.9 (-6.2)	912,298	1,072,602	17.6
2 Feb.	3,258,491 (2,965,065)	3,466,848 (3,215,752)	6.4 (8.5)	1,181,062	1,093,250	-7.4
3 Mar.	3,497,755 (3,149,434)	3,619,159 (3,221,476)	3.5 (2.3)	1,423,449	1,518,999	6.7
4 Apr.	3,909,128 (3,587,187)	3,692,364 (3,346,567)	-5.5 (-6.7)	961,386	1,042,087	8.4
5 May	3,693,587 (3,368,573)	3,559,900 *	-3.6 *	1,076,756	1,127,432	4.7
6 Jun.	3,377,985 (3,110,559)	3,148,600 *	-6.8 *	1,054,045	1,090,200 *	3.4 *
7 Jul.	3,437,118 (3,161,501)			1,205,435		
8 Aug.	3,428,406 (3,072,139)			1,648,279		
9 Sep.	3,267,228 (2,893,816)			1,394,525		
10 Oct.	3,896,524 (3,579,441)			1,243,575		
11 Nov.	3,518,195 (3,224,810)			1,330,014		
12 Dec.	3,617,791 (3,395,228)			1,300,741		
1～6 Jan.-Jun.	21,518,575 (19,635,967)	21,084,800 *	-2.0 *	6,608,996	6,944,600 *	5.1 *
1～12 Jan.-Dec.	42,683,837 (38,962,902)			14,731,565		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan.
Crew members are excluded.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

◆Note 5. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

2026年6月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2025年比）

Visitor Arrivals for Jun. 2026 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2025)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2025年 6月	2026年 6月	伸率(%)	2025年 1月～6月	2026年 1月～6月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,377,985	3,148,600	-6.8	21,518,575	21,084,800	-2.0
韓国	South Korea	729,860	787,100	7.8	4,783,598	5,675,100	18.6
中国	China	798,001	340,700	-57.3	4,718,540	2,058,200	-56.4
台湾	Taiwan	585,070	670,400	14.6	3,284,799	3,972,200	20.9
香港	Hong Kong	166,764	214,300	28.5	1,271,056	1,298,500	2.2
タイ	Thailand	52,059	48,000	-7.8	680,469	704,600	3.5
シンガポール	Singapore	68,629	68,400	-0.3	345,156	378,700	9.7
マレーシア	Malaysia	28,106	29,900	6.4	323,961	371,400	14.6
インドネシア	Indonesia	51,462	52,700	2.4	335,977	379,700	13.0
フィリピン	Philippines	63,203	59,900	-5.2	448,115	474,300	5.8
ベトナム	Vietnam	52,935	56,500	6.7	364,638	396,500	8.7
インド	India	28,623	36,100	26.1	171,126	210,300	22.9
豪州	Australia	59,422	63,900	7.5	567,244	593,300	4.6
米国	U.S.A.	345,150	354,500	2.7	1,701,427	1,821,700	7.1
カナダ	Canada	41,588	44,000	5.8	335,402	362,900	8.2
メキシコ	Mexico	13,242	13,300	0.4	84,843	109,600	29.2
英国	United Kingdom	33,525	36,200	8.0	271,042	286,600	5.7
フランス	France	27,105	28,100	3.7	209,731	227,300	8.4
ドイツ	Germany	23,912	20,500	-14.3	202,812	218,000	7.5
イタリア	Italy	20,126	21,500	6.8	136,017	135,200	-0.6
スペイン	Spain	18,160	20,500	12.9	98,261	106,000	7.9
ロシア	Russia	11,947	12,800	7.1	83,691	104,400	24.7
北欧地域	Nordic Countries	18,326	22,100	20.6	94,421	109,300	15.8
中東地域	Middle East	17,420	22,600	29.7	115,790	128,200	10.7
その他	Others	123,350	124,600	1.0	890,459	962,800	8.1

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2025年の数値は暫定値、2026年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。

訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

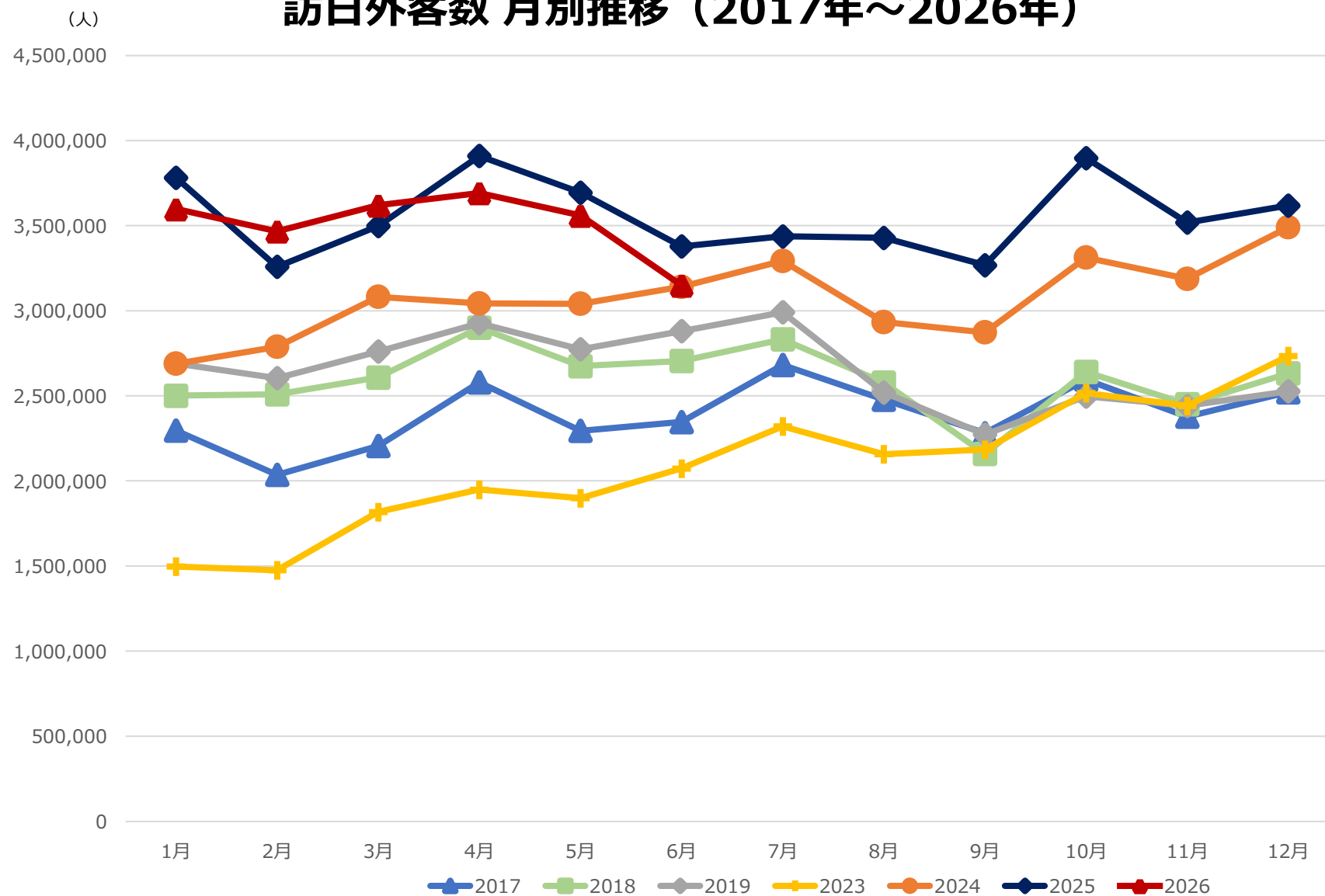
◆Note 2. Above figures for 2025 are provisional, while figures for 2026 are the preliminary ones estimated by JNTO.

◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2026年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2026年6月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2026年7月10日時点)として
いる。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航
空路線で2026年6月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

注) 多くの市場において円安傾向が継続している。

注) 欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となってい
る。

注) 2026年6月は台風による航空便の欠航があった。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、787,100人(前年同月比 7.8%増)であった。昨年は祝日による3連休があったが、
今年は連休にならなかった影響等もあったものの、継続する訪日旅行人気に加え、前年同月
と比較して航空座席数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を
記録した。
- 中国は、340,700人(前年同月比 57.3%減)であった。中国政府より日本への渡航を避けるよ
う注意喚起があった。昨年は5月末に始まった端午節が今年は6月中旬となったことの影響
等もあったものの、航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- 台湾は、670,400人(前年同月比 14.6%増)であった。継続する訪日旅行人気に加え、昨年は
5月末に始まった端午節が今年は6月中旬となったことや、前年同月と比較して航空座席数
が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を記録した。
- 香港は、214,300人(前年同月比 28.5%増)であった。昨年は日本で地震が発生するという情
報がSNS等で拡散されていた。昨年は5月末に始まった端午節が今年は6月中旬となったこ
とや大学生による訪日需要の高まりの影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

② 東南アジア

- タイは、48,000人(前年同月比 7.8%減)であった。夏場に向け訪日需要が落ち着いていく時
期であるなか、継続する訪日旅行人気の影響等はあるものの、航空便の減便や訪中旅行の継
続的な人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- シンガポールは、68,400人(前年同月比 0.3%減)であった。継続する訪日旅行人気の影響等

はあるものの、祝日の期ずれにより訪日需要の一部が5月末に先行して発生していたこと、訪中旅行の継続的な人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

- マレーシアは、29,900人（前年同月比6.4%増）であった。夏場に向け訪日需要が落ち着いていく時期であるなか、スクールホリデーの期ずれや訪中旅行の継続的な人気の影響等はあるものの、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- インドネシアは、52,700人（前年同月比2.4%増）であった。航空便の運休はあったものの、スクールホリデーや継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。
- フィリピンは、59,900人（前年同月比5.2%減）であった。夏場に向け訪日需要が落ち着いていく時期であるなか、祝日とスクールホリデーの期ずれ、航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- ベトナムは、56,500人（前年同月比6.7%増）※であった。航空便の減便や訪中旅行の継続的な人気の影響等はあるものの、スクールホリデーやハノイ～静岡間の新規就航（2026年4月）の影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を記録した。
 - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。
- インドは、36,100人（前年同月比26.1%増）であった。夏場に向け訪日需要が落ち着いていく時期であるなか、デリー～成田間での新規就航（2026年1月）、デリー～羽田間、ムンバイ～成田間の増便に加え、ムンバイ～羽田間での新規就航やスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、63,900人（前年同月比7.5%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、一部の州において昨年は7月上旬であったスクールホリデーが今年は6月下旬からとなった影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を記録した。
- 米国は、354,500人（前年同月比2.7%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、多くの地域で6月から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を記録した。
- カナダは、44,000人（前年同月比5.8%増）であった。6月は訪日需要が落ち着く時期であるなか、継続する訪日旅行人気や6月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を記録した。

- **メキシコ**は、13,300 人（前年同月比 0.4%増）であった。FIFA ワールドカップ 2026 が自国で開催されたことによる旅行控えの影響等はあるものの、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は 6 月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、36,200 人（前年同月比 8.0%増）であった。6 月は訪日需要が落ち着く時期であるなか、継続する訪日旅行人気や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 6 月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、28,100 人（前年同月比 3.7%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等があるなか、若年層を中心とした訪日需要の高まりの影響等もあり、訪日外客数は 6 月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、20,500 人（前年同月比 14.3%減）であった。継続する訪日旅行人気の影響等はあるものの、昨年は 6 月上旬にあった祝日が今年は 5 月下旬となったことによる影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。
- **イタリア**は、21,500 人（前年同月比 6.8%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、6 月中旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 6 月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、20,500 人（前年同月比 12.9%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等があるなか、若年層を中心とした訪日需要の高まりや 6 月下旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 6 月として過去最高を記録した。
- **ロシア**は、12,800 人（前年同月比 7.1%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 6 月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、22,100 人（前年同月比 20.6%増）であった。6 月から始まったスクールホリデーや訪日旅行に関する現地での報道の増加に加え、ヘルシンキ～羽田間の期間増便の影響等もあり、訪日外客数は 6 月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- **中東地域**は、22,600 人（前年同月比 29.7%増）であった。昨年は6月上旬であったイスラム教の祝日が今年は5月下旬となった影響等もあったものの、継続する訪日旅行人気の影響に加え、一部路線における航空便の再開や増便、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は6月として過去最高を記録した。